

丸紅、韓国にLNG輸送

現地海運と合弁 新船建造

丸紅は米国の新型天然ガス「シェールガス」の韓国向け輸送事業に参画する。韓国の海運大手SK海運と合弁会社を設立。460億円を投じて液化天然ガス(LNG)運搬船を2隻建造、うち1隻をシェールガスの輸送に活用する。米産シェールガスをアジアに輸出する初めてのプロジェクトに加わり、「シェール革命」を機に今後活性化されるLNG輸送需要を取り込む。



丸紅は共同保有も含め14隻のLNG船を運航管理している(同社の船舶)

米からシェールガス

丸紅が49%、SK海運が51%を出資して、LNG船を保有・運航管理する海運会社を設立した。韓国サムスン重工が建造するLNG船2隻を買い入れ、2017年から輸送事業を始める。LNG船の積載能力は18万立方メートル、標準より約2割大

が51%を出資して、LNG船を保有・運航管理する海運会社を設立した。韓国サムスン重工が建造するLNG船2隻を買い入れ、2017年から輸送事業を始める。LNG船の積載能力は18万立方メートル、標準より約2割大

丸紅は3年前にLNG輸送船事業に参入した。11年には海運世界最大のA・P・モラー・マースク(デンマーク)からも拡大が見込まれる。

韓国は米国と自由貿易協定(FTA)を締結しており、米国産シェールガスの輸入許可を米政府から得ている。17年10月にも、メキシコ湾沿いの「サビーンパス」LNG基地(ルイジアナ州)から韓国へのシェールガス輸送を始める。輸送量は

年70万トで、全量を韓国ガス公社に供給する。もう1隻はオーストラリア北西部沖の大型LNGプロジェクト「イクシス」から韓国へのLNG輸送に投入する。トタルが17年1月から年120万ト韓国ガス公社に供給する。

韓国ガス公社は1社単独では世界最大のLNGの買い手。年間3千万トを輸入しており、丸紅などはうち6%分の輸送を手掛けることになる。

液化天然ガス(LNG)の需要はアジアを中心に今後旺盛な需要が続く見通しだ。国際LNG輸入者協会などによると、2030年の世界のLNG需要は12年に比べて約2倍増の4億4000万トになる見通し。輸送需要は拡大が見込まれる。

LNG商流変化 30年に需要倍増

米国がシェールガスの増産を加速し、日本など自由貿易協定(FTA)の非締結国への輸出を許可すれば、世界のLNGの商流は大きく変化する。中東でもLNGプロジェクトが多く立ち上がっているが、もともとは米

需要を取り込み、先行する三菱商事などを追撃する。丸紅は石炭や金属など資源市場の低迷を受け、非資源分野の収益底上げを急いでいる。長期に安定した売り上げが見込める。一方、日本も非

需要を取り込み、先行する三菱商事などを追撃する。丸紅は石炭や金属など資源市場の低迷を受け、非資源分野の収益底上げを急いでいる。長期に安定した売り上げが見込める。一方、日本も非

ファストトリも実質値下げ

消費税増税後 表示価格据え置き

ファストトリテイリングの柳井正会長兼社長は11日、2014年4月に



柳井正(11日)

「消費税還元セール」の禁止などを求める特別措置法案についても「法律自体が理解できない」と批判した。

消費増税後の価格据え置きは動きは小売業に広がっている。11日に決

調査会社のBCN(東京・千代田)は11日、3月のパソコン(PC)販売動向をまとめた。ノート型、デスクトップ型、タブレット(多機能携帯端末)を合わせた販売台数は前年同月に比べ6.2%減った。前年実績を下回るのは7カ月ぶり。販売不振が続いているノート型、デスクトップ型

パソコン不振を補えず

た。最需期となる3月からはなかった。3月のPC販売をうらなうとされる。消費者のノート型、デスクトップ型離れが一段と進みそうだ。

3月はタブレットの販売台数が前年同月の約2

減(11月)

台数